

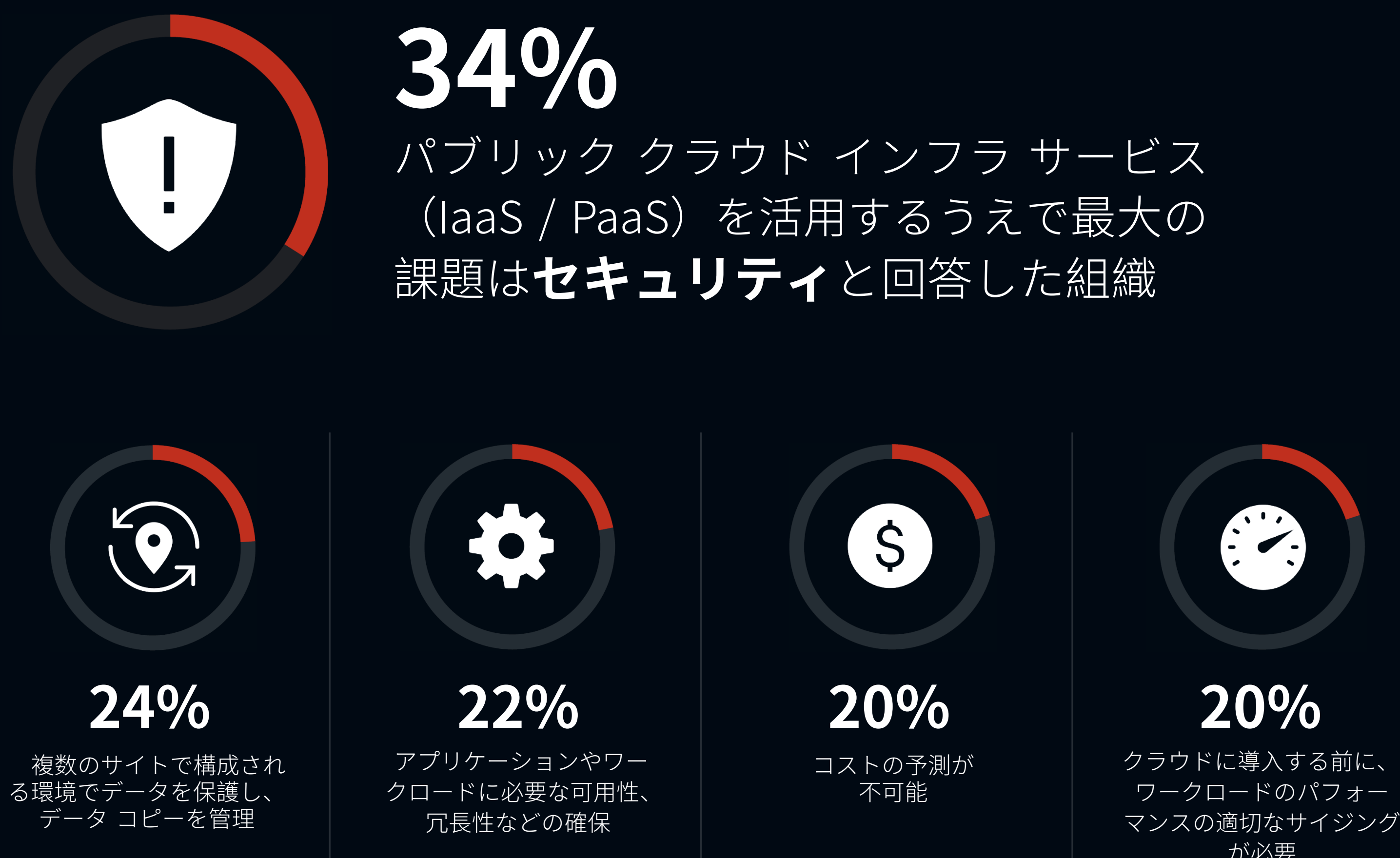
Amazon FSx for NetApp ONTAP: エンタープライズ アプリケーション に最適なクラウド サービス

パブリック クラウド サービスは、IT の最新化に欠かせないバックボーンです。しかし、クラウド戦略の対象となるアプリケーションを増やせば増やすほど、クラウド テクノロジーの導入における選択肢が広がり、多種多様なテクノロジーから最適なものを選ぶ必要が生じます。エンタープライズレベルのファイルおよびブロック データ管理サービスは、どの組織にも共通するニーズです。このエンタープライズレベルのデータ サービスがクラウド テクノロジーに欠けていると、クラウド戦略の目標達成が難しくなることが多く、場合によっては、目標の完全達成をあきらめざるをえなくなることもあります。

選ぶなら、ビジネス クリティカルなアプリケーションの厳しい要件に対応できるクラウド ストレージを

IT 組織がクラウド戦略の目標を完全に達成するには、ハイ パフォーマンスと高可用性を提供しつつ、ビジネスを加速し、緊密に統合されたクラウドネイティブのデータ管理サービスで管理を簡素化するエンタープライズレベルのファイル ストレージとブロック ストレージ サービスが必要です。

» パブリック クラウド インフラ サービスが抱える主な課題



NetApp ONTAP の機能をフルに活用できる AWS のマネージド サービス

Amazon FSx for NetApp ONTAP は、NetApp ONTAP が長年提供してきた実績のあるデータ管理機能、パフォーマンス、データ保護機能をクラウドにもたらすテクノロジーです。ONTAP の機能にプラスして、AWS ならではの即応性、拡張性、使いやすさを実現できます。

- ストレージ コストを抑制**
自動階層化、スペース効率化、パフォーマンスへの影響ゼロの Snapshot コピー、重複排除、圧縮、コンパクション、シンプロビジョニング
- エンタープライズクラスの可用性**
複数のアベイラビリティ ゾーンによる高可用性とデータ保持性、NetApp SnapMirror。
- 強力なバックアップとデータ保護**
AWS バックアップ、SnapLock、SnapMirror、SnapCenter、FlexClone
- エンタープライズクラスのパフォーマンス**
環境のレイテンシは 1 ミリ秒未満、数 GB/秒のスループット、10 万以上の IOPS。スループットは 512MB/秒から 2GB/秒に向上
- エンタープライズクラスのセキュリティとコンプライアンス**
AWS キー マネージメント サービス (KMS)、保存データと転送データの自動暗号化、FIPS 140-2、Microsoft Active Directory (AD) 対応、AWS Microsoft Managed AD (SMB アクセスと NFS アクセス向け)、サードパーティによるファイル アクセス監査、ウイルス対策ソフトウェア、ランサムウェアからの保護

Amazon FSx for NetApp ONTAP の主なメリット

- マルチプロトコル対応** - NFS、SMB、iSCSI プロトコルを介して、あらゆるワークロードとユーザをサポート
- コスト パフォーマンス** - 組み込みの Storage Efficiency テクノロジーにより、一般的なソリューションの 10 分の 1 のコストで SSD のパフォーマンスを達成
- ハイ パフォーマンス** - データ アクセスやデータ管理に、ONTAP のエンタープライズレベルのパフォーマンスを活用可能
- 統合** - Cloud Backup、Global File Cache、SnapMirror などのネットアップ データ サービスと緊密に統合
- 拡張性** - ストレージ容量を自動で拡張 / 縮小
- 使い勝手** - Amazon CloudWatch、AWS KMS、Amazon SageMaker、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) など、AWS の標準のクラウド サービスをすべて利用可

Amazon FSx for NetApp ONTAP のユースケース

企業のデータセンター環境とパブリック クラウド サービスで培ったテクノロジーと経験を 1 つに融合した Amazon FSx for NetApp ONTAP は、ビジネス クリティカルなクラウドファースト アプリケーション環境に最適なソリューションとして、次のように、さまざまなユースケースに対応します。

従来のクラウドに共通する課題	Amazon FSx for NetApp ONTAP のユースケース
93% ワークロードの移行方法に改善の余地があると考えている組織	多様なファイル共有 - ユーザ共有、部門内共有、ホーム ディレクトリ ホーム ディレクトリとプロジェクト共有には、大勢のユーザに対応できる信頼性と拡張性に優れたデータ アクセスが必要です。
45% ワークロードを最適なクラウドに配置するには、アプリケーションの要件の変化を長期的に予測することが最も重要な課題だと考えている組織	IT アプリケーションとデータベース - SAP、Oracle DB / RAC、SQL Server、CRM、ERP、VMware ハイパフォーマンス、低レイテンシ、共有ストレージによって、要件の厳しいエンタープライズ アプリケーションの運用を可能にします。
40% ワークロードを最適なクラウドに配置するには、パフォーマンス要件を満たせるクラウドを見きわめることが最も重要な課題だと考えている組織	基幹業務アプリケーション - EDA、M&E のポストプロダクション、金融サービス、ヘルスケア & ライフ サイエンス レイテンシの影響を受けやすい Windows アプリケーションと Linux アプリケーションの 2 つの環境で共有可能で、オンプレミスのデータをクラウドにポートできる高速ストレージは、業種を問わず、さまざまな企業が必要とされています。
33% ワークロードを最適なクラウドに配置するには、アプリケーション保護機能やデータ保護機能を比較することが最も重要な課題だと考えている組織	データ保護とレプリケーション - オンプレミスおよびリージョン間のバックアップアーカイブ / ディザスタ リカバリ データ保持とディザスタ リカバリの要件を満たす、一元管理されたポリシーベースの SnapShot、SnapVault、SnapMirror により、オンプレミスのワークロードを簡単にバックアップ、アーカイブ、レプリケートできます。

総括

IT 環境の最新化の中心がクラウドであることに、疑問の余地はありません。ただし、エンタープライズ アプリケーションをクラウドに移行する場合は、クラウド ストレージという新たな選択肢の検討が必要です。せっかくクラウド サービスを導入するのなら、大きなメリットが得られるようにすべきです。サービスを利用することで運用が楽になり、従来のテクノロジーでできたことをはるかに上回るメリットが得られるサービスを探すべきです。

ONTAP の充実したデータ管理機能、実績のあるエンタープライズクラスの機能、パフォーマンス、データ保護機能に、AWS 標準の即応性、拡張性、セキュリティ、使いやすさを組み合わせた Amazon FSx for NetApp ONTAP なら、ビジネス ニーズに応えるさまざまなメリットによって、IT を大きく変革できます。

[詳細はこちら](#)